

2023年度(令和5年度)学校評価自己評価表

誠之中学校区

校番22

福山市立誠之中学校

最終更新日

2023年(令和5年)4月1日

Ⅰ 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
 ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

Ⅱ 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	主体性			
			知識・技能	思考力・判断力	表現力	自立・共生
・コロナ禍の中で各学校とも様々な工夫をして教育を進めている。 ・自己肯定感や自己効力感を伸ばしてほしい。 ・IT化が進んでいくので、トラブル対策も含めて、子どもの主体的な学びが進むよう取り組んでほしい。	・地域から学び、理解し、つながろうとしている子どもが増えている。 ・相手意識を持った行動が不十分。 ・目的を明確に持ち主体的に学ぶまでには至っていない。 ・長欠児童生徒の割合が高い。	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	自らに誇りを持ち、夢と目標に向かって頑張る児童生徒			
		中学校区として統一した取組等	研究主題：自ら考え学ぶ教育活動の創造 校区共通のSDGs：11 住み続けられるまちづくり			

Ⅲ 自校

ミッション		育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)		主体性				
地域や保護者から信頼され、校区内の小学校から多くの児童が夢や希望を持ちながら入学したいと（学びたい）と思える中学校の創造				知識・技能		思考力・判断力	表現力	自立・共生
学校教育目標		めざす子ども像	1年	自ら課題を見つけ、解決に向けて情報を収集し、これまで学習したことを使って、自分の考えを説明することができる。				
自ら学び、自ら考え、たくましく生き抜く生徒の育成			2年	課題解決に必要な情報を選択・分析して解決方法を見出し、仲間と共に解決に向けて取り組むことができる。				
			3年	課題を分析した結果とこれまで学習した内容を基に、他者と協力して解決方法を見出し、解決することができる。				
現 状		研究		教科等 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保体、技家、英語、総合的な学習の時間				
＜児童生徒＞ ・多くの生徒は、決まりを守り、落ち着いた学校生活を送っている。 ・自分の思い・目標を持ち表現でき始めているが、将来を見据えて現在何をすべきかを見通しを立てることは不十分である。 ・長期欠席生徒が減少しない。 ＜授業＞ ・落ち着いた雰囲気の中で授業を行っているが、知識・技能の定着は、不十分である。 ・学ぶ楽しさ（自分に見える世界の広がり）の実感が不十分のため、主体的な学びにつながっていない。		主題・内容等		主題：自ら課題を見つけ主体的にその解決に向けて取り組む授業づくり 内容：				
		めざす授業の姿		・学習と社会や自然などを関連付け、必然性のある課題設定をした授業 ・互いの考えを交流する中で、多様な価値観を認め合い、自分の考えを深める授業 ・「教える」ことと「学ぶ」こと、「指示する」ことと「自分で決める」こと等 <u>バランスを考えた授業</u>				

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立誠之中学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)				
							□指標に係る 取組状況	力せ 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	力せ 評価	達成 総合 評価	次年度の 改善方策
3	学習や体力作りに意欲的に取り組む生徒の育成	★	継続	「子ども主体の学び」を中心に据えた授業の全教室展開 【知】 【思・判】 【表】 【主】	・予習・振り返りの徹底による、知識・技能の定着 ・リーダー育成	・標準学力調査 全国平均以上 ・生徒アンケート 考えることが面白い 85%以上	-							
3	すべての生徒が元気で登校する学校づくり	★	継続	多様な学びの場と安心・安全な学級集団づくり 【自・共】	・ユニバーサルデザインによる教室環境整備 ・各種アンケート、ソーシャルスキルトレーニングの活用	・長期欠席生徒数 7.5%未満 ・生徒アンケート 自分の考えは認められている 85%以上								
			継続	生徒の自己効力感の高揚 【自・共】	・校内、地域のボランティア活動の定期的開催	・校内・校外のボランティア活動への参加 85%以上								
5	地域から信頼される学校		継続	地域・保護者への情報発信による学校教育活動の認知 【自・共】	・各種通信の発行やHPの更新を定期的に配信	・保護者アンケート 学校からの情報が伝わり様子がわかる 85%以上								
4	教職員が元気で、生徒に向き合える学校づくり	★	継続	校内研修及びICTの有効活用による業務改善	・5時間授業の日かつ部活動休養日を原則毎週確保 ・全教室に大型モニター・ミラーキャスト等を配置	・教員アンケート 授業づくりにあてる時間が確保できている 80%以上								

※自己効力感：自分がある状況において結果を出すために適切な行動を選択し、かつ遂行するための能力を自分が持っているかどうか認知するための言葉のこと。